

調達物品に備えるべき要件

○入札物品名および構成内訳

(構成内訳)

1. 導入製品の装置

1-1	内視鏡ビデオ情報システム	2台
1-2	上部消化管汎用ビデオスコープ	2本
1-3	上部消化管汎用ビデオスコープ	1本
1-4	上部消化管汎用ビデオスコープ	1本
1-5	大腸ビデオスコープ	2本
1-6	大腸ビデオスコープ	1本
1-7	十二指腸ビデオスコープ	1本
1-8	内視鏡用超音波観測装置	1台
1-9	超音波プローブ用駆動ユニット	1台
1-10	内視鏡用超音波プローブ	2本
1-11	4K UHD LCDモニター	2枚
1-12	モバイルワークステーション	1台
1-13	内視鏡用送水ポンプ	1台
1-14	内視鏡用炭酸ガス送気装置	2台
1-15	内視鏡洗浄消毒装置	3台
1-16	モニタースタンド	2台

以上、保守・搬入・据付・調整等を含む。

○入札物品に備えるべき要件

1. 導入製品の装置の基本性能、機能に関して以下の要件を満たすこと。

1-1		内視鏡ビデオ情報システムは以下の要件を満たすこと。
	1-1-1	面順次式と同時式の2つの内視鏡撮像方式に対応し、5色のLEDを搭載していること
	1-1-2	スコープについては、EVIS X1 1500/1200シリーズをはじめ、290/190シリーズも使用することができること
	1-1-3	全ての消化管ビデオスコープおよび、BF-F260を除く全ての気管支ビデオスコープでNBI(Narrow Band Imaging・狭帯域光)観察が可能であること
	1-1-4	260スコープやBFハイブリッドスコープを除く、1500/1200/290/190シリーズでRDI観察が可能であり、目的によって3つのモードの切り替えが可能であること
	1-1-5	1500/1200スコープをはじめ、従来の290/190シリーズとの組み合わせ(BFハイブリッドスコープ、画素数の少ない撮像素子を搭載するスコープを除く)でTXI観察が可能であること
	1-1-6	1500/1200スコープをはじめ、従来の290/190シリーズとの組み合わせで、遠景の明るさが向上するBAI-MAC機能を使用することが可能である。
	1-1-7	Violet、Blue、Green、Amber、Redの5色のLEDを搭載していること
	1-1-8	一操作で特定のシーンに適した観察状態にするマイCVモード機能を搭載していること
	1-1-9	4K対応可能な12G-SDIの映像信号出力を有しており、0EV321UH(4K対応LCDモニター)と組み合わせることが可能であること
	1-1-10	専用のポータブルメモリーが付属しており、内視鏡画像(静止画)、外部入力画像(静止画)、各種設定値の保存・読出しができること
1-2		上部消化管汎用ビデオスコープは以下の要件を満たすこと。
	1-2-1	面順次方式のビデオスコープでCMOSイメージセンサーを採用していること
	1-2-2	先端部外径、軟性部外径ともに9.9mmを採用していること
	1-2-3	0EV321UH(4K対応LCDモニター)との組み合わせで、近接拡大観察時に最大125倍の観察倍率が得られること
	1-2-4	ウォータージェット機能を有していること
	1-2-5	操作部には4つのスコープスイッチを有しフリーズ、レリーズ、周辺装置のリモート操作が可能であること
	1-2-6	EVIS LUCERA ELITEシステム及びEVIS X1ビデオシステムセンター CV-1500との組合せにより、光デジタル法による狭帯域光観察(NBI)が可能であること
	1-2-7	EVIS X1システムとの組合せにより、Narrow Band Imaging(NBI)、TeXture and color enhancement Imaging(TXI)、Red Dichromatic Imaging(RDI)などの画像強調観察が可能であること
	1-2-8	高周波漏洩電流対策がとられていること
	1-2-9	ワンタッチコネクターの採用で防水となり不用意な水没を回避しながら手軽に洗滌・浸漬消毒が可能であること
	1-2-10	スコープタグ機能をスコープコネクター部に内蔵していること
1-3		上部消化管汎用ビデオスコープに関して以下の要件を満たすこと。
	1-3-1	面順次方式のビデオスコープでCMOSイメージセンサーを採用していること
	1-3-2	先端部外径5.4mmの経口・経鼻挿入可能なこと
	1-3-3	操作部には4つのスコープスイッチを有しフリーズ、レリーズ、周辺装置のリモート操作が可能であること
	1-3-4	EVIS LUCERA ELITEシステム及びEVIS X1ビデオシステムセンター CV-1500との組合せにより、光デジタル法による狭帯域光観察(NBI)が可能であること
	1-3-5	EVIS X1システムとの組合せにより、Narrow Band Imaging(NBI)、TeXture and color enhancement Imaging(TXI)、Red Dichromatic Imaging(RDI)などの画像強調観察が可能であること
	1-3-6	高周波漏洩電流対策がとられていること

## 調達物品に備えるべき要件

	1-3-7	ワンタッチコネクターの採用で防水となり不用意な水没を回避しながら手軽に洗滌・浸漬消毒が可能であること
	1-3-8	スコープタグ機能をスコープコネクタ部に内蔵していること
1-4		上部消化管汎用ビデオスコープに関して以下の要件を満たすこと。
	1-4-1	面順次方式のビデオスコープで高解像CCDを採用していること
	1-4-2	先端部径φ9.8mm、軟性部径φ9.9mm、φ3.2mmのチャンネルを有していること
	1-4-3	EVIS LUCERA ELITEシステム及びEVIS X1ビデオシステムセンター CV-1500との組合せにより、光デジタル法による狭帯域光観察 (NBI) が可能であること
	1-4-4	EVIS X1システムとの組合せにより、Narrow Band Imaging (NBI)、TeXture and color enhancement Imaging (TXI)、Red Dichromatic Imaging (RDI) などの画像強調観察が可能であること
	1-4-5	操作部には4つのスコープスイッチを有しフリーズ、レリーズ、周辺装置のリモート操作が可能であること
	1-4-6	高周波漏洩電流対策がとられていること
	1-4-7	ウォータージェット機能を有していること
	1-4-8	ワンタッチコネクターの採用で防水となり不用意な水没を回避しながら手軽に洗滌・浸漬消毒が可能であること
	1-4-9	スコープタグ機能をスコープコネクタ部に内蔵していること
1-5		大腸ビデオスコープに関して以下の要件を満たすこと。
	1-5-1	面順次方式のビデオスコープでCMOSイメージセンサーを採用していること
	1-5-2	RIT機能を有していること。RIT機能以下詳細。
	1-5-3	硬度可変： 挿入状況に合わせて挿入部の硬さを無段階に調整可能
	1-5-4	受動湾曲： 腸管に押し付けると受動的に曲がる柔らかいスコープ湾曲部を設け、ステッキ現象を軽減
	1-5-5	高伝達挿入部： 挿入部蛇管を改良により手元の力が効率よく先端に伝わり易い
	1-5-6	OEV321UH (4K対応LCDモニター) との組み合わせで、近接拡大観察時に最大135倍の観察倍率が得られること
	1-5-7	操作部には4つのスコープスイッチを有しフリーズ、レリーズ、周辺装置のリモート操作が可能であること
	1-5-8	視野角170° を採用しているビデオスコープであること
	1-5-9	先端部径φ13.2mm、軟性部径φ12.8mm、φ3.7mmのチャンネルを有していること
	1-5-10	EVIS LUCERA ELITEシステム及びEVIS X1ビデオシステムセンター CV-1500との組合せにより、光デジタル法による狭帯域光観察 (NBI) が可能であること
	1-5-11	EVIS X1システムとの組合せにより、Narrow Band Imaging (NBI)、TeXture and color enhancement Imaging (TXI)、Red Dichromatic Imaging (RDI) などの画像強調観察が可能であること
	1-5-12	高周波漏洩電流対策がとられていること
	1-5-13	ワンタッチコネクターの採用で防水となり不用意な水没を回避しながら手軽に洗滌・浸漬消毒が可能であること
	1-5-14	スコープタグ機能をスコープコネクタ部に内蔵していること
1-6		大腸ビデオスコープに関して以下の要件を満たすこと。
	1-6-1	面順次方式のビデオスコープでCCDイメージセンサーを採用していること
	1-6-2	RIT機能を有していること。RIT機能以下詳細。
	1-6-3	硬度可変： 挿入状況に合わせて挿入部の硬さを無段階に調整可能
	1-6-4	受動湾曲： 腸管に押し付けると受動的に曲がる柔らかいスコープ湾曲部を設け、ステッキ現象を軽減
	1-6-5	高伝達挿入部： 挿入部蛇管を改良により手元の力が効率よく先端に伝わり易い
	1-6-6	OEV321UH (4K対応LCDモニター) とEVIS X1ビデオシステムセンター CV-1500との組み合わせで、近接拡大観察時に最大170倍の観察倍率が得られること
	1-6-7	操作部には4つのスコープスイッチを有しフリーズ、レリーズ、周辺装置のリモート操作が可能であること
	1-6-8	視野角170° を採用しているビデオスコープであること
	1-6-9	先端部径φ11.7mm、軟性部径φ11.8mm、φ3.2mmのチャンネルを有していること
	1-6-10	EVIS LUCERA ELITEシステム及びEVIS X1ビデオシステムセンター CV-1500との組合せにより、光デジタル法による狭帯域光観察 (NBI) が可能であること
	1-6-11	EVIS X1システムとの組合せにより、Narrow Band Imaging (NBI)、TeXture and color enhancement Imaging (TXI)、Red Dichromatic Imaging (RDI) などの画像強調観察が可能であること
	1-6-12	高周波漏洩電流対策がとられていること
	1-6-13	ワンタッチコネクターの採用で防水となり不用意な水没を回避しながら手軽に洗滌・浸漬消毒が可能であること
	1-6-14	スコープタグ機能をスコープコネクタ部に内蔵していること
1-7		十二指腸ビデオスコープに関して以下の要件を満たすこと。
	1-7-1	面順次方式のビデオスコープでCCDイメージセンサーを採用していること
	1-7-2	高伝達挿入部： 挿入部蛇管を改良により手元の力が効率よく先端に伝わり易い機能を有していること
	1-7-3	操作部には4つのスコープスイッチを有しフリーズ、レリーズ、周辺装置のリモート操作が可能であること
	1-7-4	先端部径φ13.5mm、軟性部径φ11.3mmでφ4.2mmのチャンネルを有していること
	1-7-5	視野角100°、後方斜視105° を有していること
	1-7-6	EVIS LUCERA ELITEシステム及びEVIS X1ビデオシステムセンター CV-1500との組合せにより、光デジタル法による狭帯域光観察 (NBI) が可能であること
	1-7-7	EVIS X1システムとの組合せにより、Narrow Band Imaging (NBI)、TeXture and color enhancement Imaging (TXI)、Red Dichromatic Imaging (RDI) などの画像強調観察が可能であること
	1-7-8	高周波漏洩電流対策がとられていること

## 調達物品に備えるべき要件

	1-7-9	ワンタッチコネクターの採用で防水となり不用意な水没を回避しながら手軽に洗滌・浸漬消毒が可能であること
	1-7-10	スコープタグ機能をスコープコネクタ部に内蔵していること
1-8		内視鏡用超音波観測装置に関して以下の要件を満たすこと。
	1-8-1	メカニカル走査式と電子走査式のコンバイン型の超音波観測装置であること
	1-8-2	電子走査方式の超音波内視鏡や、プローブ駆動ユニットとの組み合わせによりメカニカル走査方式のミニチュアプローブと接続可能であること
	1-8-3	送波周波数がメカニカル走査式は12MHz、20MHz 電子走査式は5MHz、6MHz、7.5MHz、10MHz、12MHzに対応可能であること
	1-8-4	表示レンジがメカニカル走査式は2cm、3cm、4cm、6cm、9cm、12cm 電子走査式は2cm、3cm、4cm、5cm、6cm、7cm、8cm、9cm、10cm、11cm、12cmから選択可能であること
	1-8-5	焦点方式はs-FOCUS、オート、マニュアルから選択可能であること
	1-8-6	焦点調整は焦点位置、焦点数の設定が可能であること
	1-8-7	表示モードは以下を搭載していること Bモード 受信信号の強さを明るさの強弱に変換し表示可能であること FLOW モード COLOR-FLOW モード、POWER-FLOW モード、H-FLOW モードから選択可能であること PWモード B+PW、COLOR+PW、POWER+PW、H-FLOW+PWから選択可能であること THE (ティッシュハーモニック エコー) モード 超音波が生体内組織を伝搬する際に発生する高調波成分を利用して画像化が可能である。THE-P、THE-Rモードが選択可能であること CHEモード ソフトウェアインストール (オプション) により、CHE、C-THEから選択可能であること ELSTモード ソフトウェアインストール (オプション) により、拍動もしくは脈動を利用して組織内のひずみ量を測定し、ROI内の組織の相対的な硬さをカラー表示可能であること SWQモード ソフトウェアインストール (オプション) により、音響放射圧により組織を変位させ、組織が元の状態に戻ろうとするとときに発生するせん断波の伝搬速度を計算することにより、組織の硬さに関する定量的な情報を表示可能であること
	1-8-8	キーボードはタッチパネル、LEDバックライトキー、大型のLCDタッチパネル、トラックパッドにより、直観的な操作が可能であること
	1-8-9	映像出力はSDI、DVI、Y/C、コンポジット、の映像信号出力を有していること
	1-8-10	特定の操作や設定変更などを行うとき、IDとパスワード入力を伴うログインを必要とするセキュリティ機能が設定可能であること
	1-8-11	一部の機能 (CHEモード、ELSTモード、SWQ) をソフトウェアオプションとして提供可能であること
1-9		超音波プローブ用駆動ユニットに関して以下の要件を満たすこと。
	1-9-1	メカニカルラジアル、ヘリカル走査のプローブに対応していること
	1-9-2	超音波内視鏡観測装置 EU-ME3と組み合わせ可能であること
	1-9-3	幅：71mm、高さ：94mm、奥行：190mm (駆動部本体) であること (駆動部アダプター除く)
1-10		内視鏡用超音波プローブに関して以下の要件を満たすこと。
	1-10-1	走査方式はメカニカルラジアル走査方式であること
	1-10-2	走査範囲はプローブ挿入方向に対して直角方向全周であること
	1-10-3	超音波周波数は 12MHz (UM-2R)、20MHz (UM-3R) であること
	1-10-4	超音波プローブ用駆動ユニット MAJ-1720と組み合わせて使用できること
1-11		4K UHD LCDモニターに関して以下の要件を満たすこと。
	1-11-1	32インチサイズであること
	1-11-2	12G-SDI端子を入出力それぞれ2系統設けていること
	1-11-3	プリセット機能により、お好みの設定を記憶する20件のユーザー設定の中から、手技に適した画質設定をワンタッチで選択が可能であること
	1-11-4	フルフラットパネルとケーブルカバーを採用していること
1-12		モービルワークステーションに関して以下の要件を満たすこと。
	1-12-1	モニターを移動できるよう、水平方向・上下方向・傾斜角度への調整が可能であること
	1-12-2	安定性の高いツインキャスターを採用していること
1-13		内視鏡用送水ポンプに関して以下の要件を満たすこと。
	1-13-1	鉗子チャンネル、副送水チャンネルのどちらからも送水可能であること
	1-13-2	送水タンク 容量2000mLを有していること
	1-13-3	最大送液量900mL/minが可能であること
1-14		内視鏡用炭酸ガス送気装置に関して以下の要件を満たすこと。
	1-14-1	ガステーブの交換により3段階の流量設定が可能であること
	1-14-2	切り忘れ防止のタイマー機能を有していること

## 調達物品に備えるべき要件

	1-14-3	外形寸法(W×D×H) : 130mm×334mm×156mm
	1-14-4	前面パネルにガスボンベの残圧を表示していること
	1-15	内視鏡洗浄消毒装置に関して以下の要件を満たすこと。
	1-15-1	外形寸法(W×D×H) : 450mm×788mm×955mmであること ※高さはガスフィルターを含めると1012mm 奥行は座屈ガードを含めると792mm
	1-15-2	過酢酸系消毒剤の使用し、1本の内視鏡を高水準消毒することができること
	1-15-3	洗浄槽の中に消毒液採取ポートを設け、専用の採取コネクタを接続することで消毒液濃度チェックが可能であること
	1-15-4	洗浄機にポータブルメモリーポートを搭載し、洗浄履歴データの出力が出来、専用の管理ソフト”EndoTrace”をダウンロードすることで、院内でのPCで簡易的に閲覧、管理が可能であること
	1-16	モニタースタンドに関して以下の要件を満たすこと。
	1-16-1	4K UHD LCDモニター(1-11)が搭載可能であること
	1-16-2	キャスターがプレーキ付であること
	1-16-3	外形寸法(W×D×H) : 638mm×620mm×1591.5mmであること

### 2. 内視鏡マネジメントシステム

		内視鏡システムと内視鏡マネジメントシステムを連携させること。
		連携に必要な製品・材料については入札者が見積り、準備すること。

### 3. 保守体制

		システム障害発生から復旧まで短時間にて対応可能とすること。
		メンテナンスは平日9:00~17:00体制で連絡可能なこと
		装置の運用を円滑に実現するための技術的サポート及びメンテナンス体制が県内に整備されていること
		別途専用コールセンターを設け上記2-2-2以外にも対応手段を有すること
	保証期間、アフターフォロー体制	時間外対応など可能な緊急対応体制を完備していること。
		内視鏡検査機器は6ヶ月毎、年2回の保守加入品目全てを対象にした定期点検を行うこと
		6ヶ月毎に症例進捗情報、修理発生情報を半期報告として情報提供すること
		緊急時含めた対応方法に関して別途対応一覧を定めることが出来ること
		医療用具に関しては、薬事法に定められている製造承認を得ていること